

市民共創教育研究センター

1. 自治体等との共創活動

- ・ 9月24日に常総市と地域連携に関する協定を記念しシンポジウムを実施した。
- ・ 2月10日に大子町と地域連携に関する協定を記念しシンポジウムを実施した。
- ・ 2月21日に、自治体円卓会議の主催による行政評価シンポジウムを開催し、自治体関係者等が約100名参加した。
- ・ 3月12日に、行方市と市内の「会社・商店応援！CM」プロジェクトを立ち上げた。本プロジェクトは、なめがたエリアテレビと協力し、エリアテレビで放映するCM制作を試み、その効果等を実証するとともに、将来的なテレビ運営に反映させることを目標とするものである。
- ・ 大子町から袋田の滝周辺商店街の活性化に関する調査を受託し、大子町・学生・教員とともに調査を行い、報告書を作成した。

2. 研究成果の教育と社会への還元

- ・ 12月26日に茨城大学・宇都宮大学・福島大学が連携して行う研究コンソーシアム主催のシンポジウム「周辺をいかに語るか/語りうるか」を茨城大学にて開催した。
- ・ 茨城県経営者協会の協力を得て毎年開講している地域連携論Ⅰを開講した。今年度は学生が県内企業を訪問し、ヒアリングと見学をするPBL型の授業を実施した。後期は、地域連携論Ⅱを開講した。
- ・ 研究会「人と地域」を定期的で開催した（全6回）。
- ・ 2月3日に水戸キャンパスにて地域史シンポジウム「茨城における戦争の記憶とその継承」を開催した。
- ・ 石岡市からインバウンド基本方針調査を受託し、教員が石岡市とともに調査を行い、報告書を作成した。

3. 学生の課外活動支援

- ・ 7月から12月にかけて、大洗町の観光、防災、議会改革をテーマに学生が主体となり調査を実施し、調査成果の報告会を行った。センターとして、取り組みを支援した。
- ・ 大子町と学生が主体となり観光PR動画を作成した。動画は大子町のホームページ上で公開されている。

人文社会科学部市民共創教育研究センター副センター長：馬渡剛